

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-15-0001_改0
提出年月日	2021年6月15日

工事計画に係る説明資料

非常用取水設備

(本文)

2021年 6月

東北電力株式会社

## 申請範囲目録

### 8. その他発電用原子炉の附属施設

#### 8.7 非常用取水設備

##### 8.7.1 取水設備（非常用の冷却用海水を確保する構築物に限る。）

- ・貯留堰
- ・取水口
- ・取水路
- ・海水ポンプ室

8.7 非常用取水設備

8.7.1 取水設備（非常用の冷却用海水を確保する構築物に限る。）

			変更前	変更後
名		称	—	貯留堰* <sup>1</sup> (No. 1), (No. 2), (No. 3), (No. 4), (No. 5), (No. 6)
種	類	—		鉄筋コンクリート堰
容	量	m <sup>3</sup>		2971 以上 (4300* <sup>2</sup> ) * <sup>3</sup>
主要 寸法	天 端 高 さ	m		0. P. -5. 3* <sup>2</sup> ,
	天 端 幅	m		2. 5* <sup>2</sup>
	た て	m		1. 2* <sup>2</sup>
	横	m		4. 0* <sup>2</sup>
材	料	—		鉄筋コンクリート
個	数	個	6	

注記 \*1：浸水防護施設の外郭浸水防護設備と兼用する。

\*2：公称値を示す。

\*3：引き波時に非常用海水ポンプの継続運転に必要な水量であり，貯留堰，取水口，取水路及び海水ポンプ室で確保する水量の合計値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	取水口* <sup>1</sup>
種 類	—	鉄筋コンクリート函渠		
容 量	m <sup>3</sup>	2971 以上 (4300* <sup>2</sup> ) * <sup>3</sup>		
主 要 寸 法	た て	m		33.0* <sup>2</sup>
	横	m		39.8* <sup>2</sup>
	高 さ	m		12.0* <sup>2</sup>
材 料	—	鉄筋コンクリート		
個 数	—	1		

注記\*1 : 本設備は既存の設備である。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 引き波時に非常用海水ポンプの継続運転に必要な水量であり、貯留堰、取水口、取水路及び海水ポンプ室で確保する水量の合計値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	取水路*1
種 類		—		鉄筋コンクリート函渠
容 量		m <sup>3</sup>		2971 以上 (4300*2) *3
主 要 寸 法	た て	m		13.4*2
	横	m		119.9*2
	高 さ	m		5.5*2
材 料		—		鉄筋コンクリート
個 数		—		1

注記\*1 : 本設備は既存の設備である。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 引き波時に非常用海水ポンプの継続運転に必要な水量であり、貯留堰、取水口、取水路及び海水ポンプ室で確保する水量の合計値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	海水ポンプ室* <sup>1</sup>
種 類		—		鉄筋コンクリート取水槽
容 量		m <sup>3</sup>		2971 以上 (4300* <sup>2</sup> ) * <sup>3</sup>
主 要 寸 法	た て	m		32.5* <sup>2</sup>
	横	m		77.0* <sup>2</sup>
	高 さ	m		28.4* <sup>2</sup>
材 料		—		鉄筋コンクリート
個 数		—		1

注記\*1 : 本設備は既存の設備である。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 引き波時に非常用海水ポンプの継続運転に必要な水量であり、貯留堰、取水口、取水路及び海水ポンプ室で確保する水量の合計値を示す。